

病状説明を支える 看護師だからこそできること

『緩和ケア』36(4)

忙しい現場の中で、どのように情報収集し、医師の説明に同席するのか？
事後のフォローや他職種連携について特集。

一般病棟、外来、在宅など様々な場面での病状説明のサポート事例を掲載。
がんを中心に腎不全、心不全の専門看護師による解説。

新モデル・コア・カリキュラム

『看護教育』67(4)

コンピテンシー基盤型カリキュラムに臨床薬理の視点を組み込む

『小児看護』49(8)

新モデル・コア・カリキュラムが導く小児看護教育の変革

薬理学と小児看護分野での新コアカリに関する特集。

現状と課題、実践事例・すぐに使える活用ツールなどそれぞれ
一冊まるごと新コアカリをどう教育に活かすかのヒントが満載。

臨時増刊号

『エキスパートナース』42(10)

ナースのための症候学 症状から察する技術

執筆者の医師は、看護師は患者の症状を真っ先に把握する人であり、
その看護師が症候学に長けているとその後の患者のケアに大きく貢献
できると述べています。

呼吸困難や頭痛、嘔吐など19の症候に3つの対処を示しています。

場面設定も入院、外来、救急など様々で、どこからでも読み始められ
ます。

No.093 医中誌Webミニレクチャー

医中誌Webミニレクチャーを7月24日に開催しました。
基本操作を学んだ後は自由検索を行い、少人数制なら
ではの質問しやすい雰囲気の中で実践的に文献検索を
体験していただきました。次回もお気軽にご参加くだ
さい。※申込受付は10月開始

次回は
12月14日(月)

